

製品名: ELOVL1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10422**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	39kDa

抗原情報

遺伝子名	ELOVL1
別名	ELOVL1; SSC1; CGI-88; Elongation of very long chain fatty acids protein 1; 3-keto acyl-CoA synthase ELOVL1; ELOVL fatty acid elongase 1; ELOVL FA elongase 1
遺伝子 ID	64834.0
SwissProt ID	Q9BW60
免疫原	抗血清はヒト ELOVL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

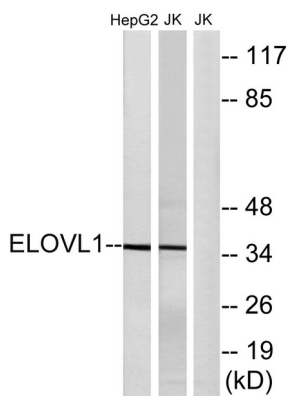
背景

ドメイン: ジリジンモチーフは、I型膜タンパク質を小胞体へ局在させる。機能: 組織特異的な超長鎖脂肪酸およびスフィンゴ脂質の

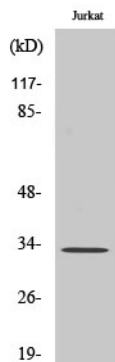
合成に関与している可能性がある。脂肪酸伸長における還元反応 (β -ケトアシル CoA から β -ヒドロキシアシル CoA への変換、またはトランス-2-エノイル CoA から飽和アシル CoA 誘導体への還元) の一方または両方を触媒する可能性がある。類似性: ELO ファミリーに属する。ドメイン: ズリジンモチーフは、I 型膜タンパク質を小胞体へ局在させる。機能: 組織特異的な超長鎖脂肪酸およびスフィンゴ脂質の合成に関与している可能性がある。脂肪酸伸長における還元反応の一方または両方、すなわち β -ケトアシル CoA から β -ヒドロキシアシル CoA への変換、またはトランス-2-エノイル CoA から飽和アシル CoA 誘導体への還元を触媒する可能性がある。類似性: ELO ファミリーに属する。

研究分野

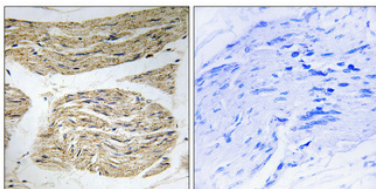
画像データ



ELOVL1 抗体を用いた Jurkat 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ELOVL1 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット解析した。



パラフィン包埋ヒト骨格筋の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高温高圧トリス EDTA (pH8.0) を用いた。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。